



かけはし

2014年8月までのその他の活動 キリスト教海外記念史跡指定式



在日本韓国YMCAが、韓国の大韓イエス教長老会（統合）総会より、在日大韓基督教会東京教会誕生（1908年）の母体、2.8独立宣言（1919年）の場として、東京教会と共にキリスト教海外記念史跡（第4号）の指定を受けることとなり、8月4日、本会会議室で指定式が行われました。

大韓イエス教長老会（統合）総会歴史委員長の鄭載勲牧師をはじめとする一行3名を迎え、在日大韓基督教会総会長趙重来牧師と総幹事の金柄鎬牧師も列席する中、記念礼拝（説教：李清吉牧師）に続いて、鄭載勲牧師から指定に至る経過報告があり、指定書および記念銅板が伝達された後、昼食懇談会がもたれました。

指定にあたっての条件は、100年を超える歴史を持ち、韓国キリスト教史に顕著な貢献が認められるという内容でした。今回の指定式を通じ、本会の歴史をあらためて心に刻み、与えられたミッションを今後も共に担っていくことを再確認できました。

サマースクール ～子ども多文化探検隊～



8月4日、5日の2日間、サマースクール～子ども多文化探検隊～が行われました。初日は、YMCAを会場として韓国語を習ったり、韓国の遊びや楽器を楽しんだり、韓国のチヂミをみんなでいっしょに作って食べたりしながら、楽しい時間を過ごしました。2日目は、とても暑い中でしたが、電車に乗って出かけ、いろいろな国の文化が集まる大久保の街を探検しました。台湾のお寺に入ったり、韓国の楽器屋さんに入ったりして、まるで海外旅行に来たような気分を味わいました。韓国のパッピンス（かき氷）もとてもおいしかったです。

エルサレム・ユース・コーラス来日



エルサレム・インターナショナルYMCAで活動している、イスラエル人とパレスチナ人混合による高校生たちの合唱団、YMCAエルサレム・ユース・コーラスの東京公演が、8月18日に本会地下ホールにおいて開催されました。公演の前には、同コーラスのメンバーと、本会、横浜YMCA、学生YMCAのユースによる交流会も行われました。交流会では、韓国の民謡や楽器を紹介する時間もありましたが、日頃から音楽に親しんでいるユースたちだけあって、大いに楽しんでくれました。メンバーたちは皆で協力しあいながら、素晴らしい音楽の作品を作り上げていました。ガザへの攻撃が続く厳しい状況の中での来日でしたが、彼、彼女たちの平和の種をまく働きは、いつの日か必ず花を咲かせ、実を結ぶであろうことを確信させてくれる一日となりました。

生野つながりキャンプ～



8月19日、大阪府と和歌山県との境にある里山の自然にめぐまれたキャンプ場「紀泉わいわい村」で、生野地域活動協議会主催の第21回「生野つながりキャンプ」が日帰りで実施されました。参加者は子ども17名、大人7名の24名でした。風の吹き抜けるあずまやで開会礼拝の後、日本語と韓国語の名札を作って自己紹介をし、テーマソング「夏はあついで！」を元気よく歌いました。お昼ごはんは楽しみにしていた石釜ジヤです。生地から全部自分たちの手で作りました。みんなおいしく焼きました。キャンプのハイライトの川遊びではみんな上流まで進み、深いところまでつるにぶら下がったりブランコにしたり、遊びの天才ぶりを発揮していました。



今後の予定 2014年10月～2014年12月

【東京韓国YMCA】

- 9/1(月) 関東大震災第91周年記念 追悼合同早天礼拝
- 9/10(水) 東日本大震災被災地支援街頭募金
- 10/6(月) 韓国語講座10月期開講
- 10/8(水) 日本語学校10月期入学始業式
- 11/13(木) YMCA/YWCA合同祈禱会(東京YMCA)
- 11/15(土) Y・わいフェスティバル2014～YMCAバザー～

【関西韓国YMCA】

- 9/1(月) ともだち展第2回実行委員会
- 9/12(金) 第116回YMCA教界指導者早天祈禱会
- 9/12(金) 合同拡大委員会
- 9/19(金) 第3回生野地域活動協議会(関西韓国YMCA)
- 9/20(土) 第2回四季を彩る韓国料理
- 10/4(土) 第15回枚方多文化フェスティバル(岡東中央公園)
- 10/18(土) つながりスポーツ大会(東大阪朝鮮中級学校)
- 10/25(土) 第9回「このゆびと一まれ」講演会(東成区民センター)
- 11/13(木) YMCA/YWCA合同祈禱会(大阪YMCA予定)



YMCA 東京日本語学校学生募集中

韓国語講座 10月期募集中

【編集後記】

- 一日も早くガザに平和が訪れますように。(た)
- 仕事は重なってやってきます。鈍重に臨みます。(白)
- 何事にも感謝を忘れず毎日笑顔で過ごしたいとしみじみ思う今日この頃です。(U)

KAKEHASHI かけはし 2014 Sep. vol.16

発行人：金秀男 発行：在日本韓国YMCAアジア青少年センター
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-5-5
TEL: 03-3233-0611 FAX: 03-3233-0633
http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/
ayc@ymcajapan.org



『かけはし』次号は2014年12月発行予定です。

Twitter: @zainichiymca Facebook: Korean YMCA in Japan
より良い紙面つくりのために、ご意見・ご感想等お寄せください。

カヤグム 伽倻琴の魔法にかかって ぱく・きよんみ

日本のお盆休みのころ、在日本韓国YMCA9階のホールは韓国の音と響きに包まれる。いのちを衝き動かしてやまない韓国の旋律とリズム（チャンダン）に惹かれて集まる人たちがハンゲルで民謡をうたい、伽倻琴の絃をつまびいていく。

今夏の東京の最高気温は35.6度に達し、このご時勢の何とも言えない焦燥感にもじりじりと炙られ、慢性疲弊したわれわれの心とからだのみるみると解きほぐされていくのは、韓国YMCAが紡いできたかけがえのない時間と空間あってこそ、と改めて感じた。

韓国の伽倻琴演奏家、池成子先生を招聘して開かれる「民謡・カヤグム講習会」はことし21回目を迎えたという。毎夏、来日される池先生のゆるぎない志にも感服するけれど、ここを求めてくる人たちの情動にも深く揺さぶられる。在日も韓国も朝鮮も日本もない、境界をかるやかに飛び交う、東アジアの柔軟で誠実な心がひしめいているからだ。

「みんな、魔法にかかったようになるの・・・」と、練習の合間に伽倻琴指導の金幸子先生が呟かれた。その輝く目が追う、真剣に練習をする背中、うしろ姿、横顔はほんとうに伽倻琴の魔法にかかって別世界の人・・・そうモツチェンイ（粹人）となっている！

初級クラスは、「ニルリリヤ」と「パンアタリョン」、中級クラスは、「青春歌」と「倡夫（チャンブ）タリョン」を習い、練習した。そして魔法にかかって最後まで歌いあげた。わたしは、誰よりも伽倻琴の魔法から解かれなことを自認している者だが、今回もまたハンゲルの歌詞の一句一句にふれて胸が熱くなってしかたなかった（のは加齢のせい？）。

人生の辛苦や悲哀を嘆じながら、それでも生きる人の智恵の宝庫である民謡に乾杯！

民謡・カヤグム講習会



池成子先生

◎お知らせ

ことし古希を迎えられる池成子先生がその半世紀を超える音楽活動の結実として、韓国民謡をまとめあげた『ソリの道をさがして』3冊シリーズ(南道民謡、京畿民謡、西道民謡)は韓国の図書出版・土香(<http://www.tohyang.co.kr>)から出版されています。

来たる9月13日には、ソウルの韓国文化の家 KOUSで、このシリーズの完結と古希を祝する公演が開かれます。

お問い合わせは、「国際文化部カヤグムクラス」まで。



聖書に聴く 第16回 曹泳石 牧師(ちょ・よんそく/盤石教会)

「悔い改めて福音を信じなさい」(マルコによる福音書 1:15)

イエス・キリストは、公生涯の初頭に「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」(マルコによる福音書 1:15)と言われた。「悔い改め」(メタノイア、μετανοια)の辞書的な意味は、「心を変える」ことであるが、聖書的な意味は、罪から「立ち帰る」ことである(エゼキエル 18:30)。

神さまは驚くべき愛をもって、すべての人間が悔い改めて神さまの元に立ち帰ることを望んでおられる。「主は約束の実現を遅らせておられるのではありません。そうではなく、一人も減びないで皆が悔い改めるようにと、あなたがたのために忍耐しておられるのです」(IIペテロ 3:9)。神さまの時間が満ちるまで、忍耐しながら待っておられる。この忍耐が神さまの熱心であり、痛みであり、情熱でもある。

それでは、わたしたちは何を悔い改めなければならないのだろうか。それは、神さまと離れて生きて来たこと、神さまに背いて生きて来たこと、自分勝手に生きて来たこと、隣人を愛していなかったことなどである。それを聖書は、不信仰(ヨハネ 16:9)、不善(ヤコブ 4:17)、不法(Iヨハネ 3:4)、不義(ロー

マ 1:21)だと指摘する。これらの罪から立ち帰らなければならない。なぜならば、神さまの関心は人間にあるからだ。それゆえ、人間の最高の祝福は、いつでも立ち帰ることができる方がおられること、そしてそのような場が、すでに用意されていることである。

神さまの御言葉を聴きながら、聖霊が望むことを待つことのできる生活が信仰であると言える。このような信仰生活をして行くうちに、人間は新しくなっていく。新しくなった人は、神さまの愛を行うようになる。洗礼者ヨハネは、「悔い改めにふさわしい実を結べ」(マタイ 3:8)と言った。そしてイエスの弟子の一人であったヨハネは、「神を愛していると言いながら兄弟を憎む者がいれば、それは偽り者です。目に見える兄弟を愛さない者は、目に見えない神を愛することができません。神を愛する人は、兄弟をも愛すべきです。これが、神から受けた掟です。」(Iヨハネ 4:20、21)と言った。

わたしたちは、単純に自己満足するために造られ、悔い改めるのではない。悔い改めて御言葉を聞き、聖霊の働きを信じるならば自然に愛を行うようになる。御言葉を聴くことを行うことは分離しないからである。ある意味では、悔い改めて神さまの御言葉を聴いたならば、それをを行うことが人間の目的である。その信仰の行いに対して、神さまは必ず報いてくださる(ヘブライ 11:6)。

連載 東京の中の韓国を巡る【第8回・～駐日韓国文化院～前編～】

才門勇介(「かけはし」編集委員)



「東京の韓国を巡る」第8回は、駐日韓国文化院にお邪魔しました。四谷三丁目駅を出て新宿通りを新宿方面に歩くと一際目をひくデザインのガラス張りのビルがあります。それが、コリアセンター、駐日韓国文化院です。この独特のデザインは、韓国の伝統民俗舞踊「僧舞(サムム)」の伝統的なフォルムのイメージを取り込んだとのこと。そういわれると人間らしいデザインに思えるから不思議なものです。

駐日韓国文化院は1979年に池袋サンシャインシティに開館しました。ソウルオリンピックを経て韓国に興味を持つ人が増えたのをきっかけに韓日友好のために事業を展開してきました。その後1995年に麻布の韓国中央会館別館に移転し、FIFA 韓日共催2002年ワールドカップサッカー大会の開催が決定後は、「2002年韓日国民交流の年」、「2005年韓日友情の年」など記念政策も行き、天皇・皇后両陛下(皇太子、同妃殿下)をはじめ、文化をはじめとする各界の要人の方々が参加する大規模行事も続々と開催しました。そして2009年韓国文化院庁舎「Korea Center」をオープン。韓国と日本の文化が調和する開放的な空間を目指し、伝統から現代の文化まで様々な韓国文化関連事業及び韓日文化交流事業を展開しています。

庁舎は「ギャラリーMI」、ホール、図書映像資料室、韓国の伝統韓屋「サランバン」、韓国の伝統庭園「ハヌル庭園」等からなります。中に入ると受付ホールには大画面で韓国のバラエティー番組が流れていました(日本語の字幕が入っていたのでご安心を)。

図書映像資料室 (<http://www.koreanculture.jp/library/>)は3階にあります。韓国語図書約20,000冊、日本語による韓国関連図書約10,000冊を所蔵しており、初回登録さえすれば誰でも貸出サービスを受けることができます。

窓際には図書をゆっくりと読むことが出来るデスクも用意され、奥にはゆっくり雑誌等を読めるデスクスペース、映像を見ることが出来るスペースもあります。韓国映画やドラマのDVD、韓国文化を紹介する広報映像物なども豊富に取り揃えており、これらは映像資料室で視聴することも出来るようです。韓国関連雑誌、韓国新聞及び定期行物や、韓国に関するイベント等のチラシも置いてあり、興味をそそられます。私自身も現代史についての日本語の本を読み、知らない所でいろいろなイベントについてチラシをもらってきました。

今回は、残念ながら下調べ不足で、お邪魔した土曜日は図書映像資料館しか開いておらず、ギャラリーも準備中でした。これでは魅力をお伝えできないので、もう一度平日にお邪魔して、後編でその他の施設のご紹介をさせていただきたいと思っております。

Y・わいフェスティバル2014 ～YMCAバザー～



2014年11月15日(土)11時～15時

バザー献品・ボランティア大募集!

詳細は、YMCAスタッフまで

お問い合わせください。

東日本大震災被災地支援募金継続実施中

募金の送り先

窓口持参または郵便振替で下記にご送金ください。
(「東日本大震災募金」とご記入下さい)。
00190-4-539049 在日本韓国 YMCA

東日本大震災の被災地支援を目的として「YMCA東日本大震災被災地支援募金」を引き続き受付けております。

YMCA国際協力募金

募金の送り先

窓口持参または郵便振替で下記にご送金ください。
(「国際協力募金」とご記入下さい)。
00190-4-539049 在日本韓国 YMCA

すべての人々が国、民族、宗教の違いを認め合い、平和にいきいきと暮らすことができる社会をつくり出すための国際協力・地域奉仕活動のために用いられます。

2014年6月～8月のプログラム

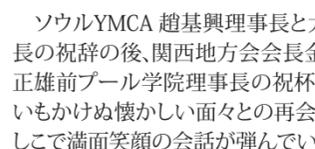
関西韓国YMCAの活動

関西韓国YMCA創立40周年記念式



7月1日(火)午後6時、大阪クリスチャンセンターを会場に約150人が参集する中、関西韓国YMCA創立40周年記念式典が挙行されました。

金武士牧師の力強い説教に、関西地方聖歌隊連合会を始め、大阪教会子ども聖歌隊のリトルジェイズ、ソプラノ篠崎周子会員による讃美と感謝にあふれた第1部感謝礼拝に続き、韓国民俗芸術科メンバーによる圧巻のサムルノリの祝賀演奏後、第2部の祝賀会に移りました。



ソウルYMCA 趙基興理事長と大阪YMCA 中川善博常議員会議長の祝辞の後、関西地方会会長金必順牧師による食前感謝、岩坂正雄前プール学院理事長の祝杯でいよいよパーティーが開始、思いもかけぬ懐かしい面々との再会に、おいしい料理も加わり、そこかしこで満面笑顔の会話が弾んでいました。

戦後在日コリアン定住化の流れの中、民族差別とアイデンティティー・クライシスに呻吟していた二世の時代を迎え、在日コリアン

集住地である大阪生野区に誕生した関西韓国YMCAでは、主の導きと多くの賛同者の協力により1980年には会館も与えられ様々なプログラムが展開されてきました。これからも在日コリアンセンター、地域の人権・福祉・文化センターとして、深刻な分裂と対立の時代にあっても真の『和解と共生』の実現に向けて発展させて行こうとの思いを新たにスタートとなりました。

(金秀男 キム・スナム)

弘益大学インターンシップ研修



7月7日から8月5日まで4週間にわたり、韓国の弘益大学商経学部国際経営及び金融保険専攻の学生9名のインターンシップ研修を引き受けました。午前中は日本語を延べ80時間近く学び、午後からは企業訪問、日本社会・文化理解、多文化社会理

解、そして日本の大学生との交流など、さまざまなプログラムを行いました。堂島ロールで知られるモンシェール、長田の製靴工場、商工会議所、またISOコンサルタント、弁護士など多くの方や団体にご協力をいただきました。

夏の強い日差しにも負けず、学生たちは意欲的に取り組み、訪問先や講師に質問を重ねていました。来日時には入門レベルであった日本語も交流の時間では親しくコミュニケーションができるまでの上達ぶりでした。(金弘明 キム・ホンミョン)

東京韓国YMCAの活動

建国大学で学ぶ韓国語2014



7月27日から8月2日の日程で、ソウルにある建国大学言語教育院でYMCA韓国語講座の現地語学研修プログラムが行われました。現地での韓国語短期プログラムは今年で四年目です。現地集合、現地解散という手軽さ、午前授業、午後は自由行動というメリハリの良さのためリピーターの参加者もいらっしゃるYMCA韓国語講座の看板プログラムとしてすっかり定着しました。

今回の参加者はこれまでの最多の総勢16名。また、今回初めての試みとして、個人面接と2クラスに分けての授業を実施しました。日本で学ぶのとはひと味もふた味も違う韓国語のみでの授業は、今まで習ってきた韓国語とは次元の異なる面白さと充実感いっぱいでした。韓国語をもっと楽しく学びたいというモチベーションアップにもつながったという声も聞かれました。YMCA韓国語講座からの参加者の皆さんが授業を受ける真摯な態度は、建国大学言語教育院でも評判で、先生方や現地の学生の間でも噂になったとのこと。

来年以降も現地での韓国語プログラムを通して、聞いて話せる韓国語、読んで話せる韓国語を身につける機会を提供することで、日本と韓国を結んでいきたいと思っております。(白宣基 ペク・ソンギ)

2014年日本語学校夏の東京体験



YMCA東京日本語学校では、7月14日から8月1日までの18日間で毎年恒例・夏の短期研修「夏の東京体験」を実施しました。今年は台湾から21名、下は10代から上は60代まで幅広い年代の方が参加しました。

平日の午前中はYMCAで日本語を学び、午後は自由時間としてそれぞれガイドブックを片手に色々なところへ出掛けて行きました。期間中ボランティアとの交流会を3回企画し、そのうち1回はボランティアの方々や学校を飛び出して都内を観光して回りました。事前に自分たちで計画を立てた観光コースを巡りながら日本語で会話をするという経験は研修生にとって初めてのことであったようで、とても楽しかったと話してくれました。

また、今年は一人一着ずつ浴衣をプレゼントし、自分たちで着付けをしてみるという新しい試みでの日本文化体験も行いました。とても気に入ってくれたようで、その後の授業を浴衣で受けたり、週末には浴衣を着て花火大会へ出掛けたりもしていました。

初日は緊張した面持ちの研修生たちでしたが、日に日に笑顔や笑い声が増え、最終日には終わるのが寂しい、本当に楽しかったと言ってくれました。研修生たちにとって忘れられないひと夏の思い出となってくれたら私たちもとても嬉しいです。(春日優 かすが・ゆう)